



小平市立第十三小学校

わたくしたちがものを考えるときの考えかたは、みんな同じではありません。

二十円のノートを買って百円出すと、おつりはいくらかというとき、百円ひく二十円で八十円になると計算する考え方がありません。

また、二十円にいくら加えると百円になるかと計算する考えかたもあります。

ところで、ものを考えるとき、はば広い考えかたのできる子どももあれば、はば広い考えかたのできない子どももあります。

子どもたちが問題に直面したとき、どのように考えるのが一番よいかわかるようにしてあげることができたら、その子どもにとってどんなにかしあわせなことだと思えます。

学校では教育目標をきめて毎日の指導をすすめています。それは、この学校の子どもたちをこのように成長させてあげたいという願いです。

十三小の教育目標は、これまで、明るく元気な子ども、なかくよく助けあう子どものふたつでした。からだがいじょうぶでいつも明るい

く元気であること、友だちどうし助けあいはげましあう友情を持つこと、このふたつの目標は今年も大事にしていきたいと思えます。

今年からは、この二つの目標に加えて、おちついて考える子どもという第三の目標をきめることにしました。

はじめに書きましたように、子どもたちの考えかたにはいろいろな違いがあります。そこで、考えかたにはばを持た

おちついて考える子ども

校長

せ、ひとつのことを考えるにも深くまたいろいろなみかた考えかたのできるようにすることが大事だと考えたいわけです。

もちろんそれはやさしいことではないと思えますが、そのためにどんなことに気をつけたいか、しめようか。

一番大事なことは、きまりきったことですが、学校での勉強の時間に真剣にとりくむことだと思えます。

先生の話しかた、考えの進めかたをよく聞くことです。

与えられた文や教や資料やグラフ、地図などから、どのようにして問題を見出し、解決しようとしていくかという考えかたや考える道すじは、ひとりて本を読んでわかるというものはありません。

先生の話しかた、考えの進めかたをよく聞いていないと、はば広い考えかたや考えかたの道すじがわからなくなりそうです。

つきには、ひとつのことについてねばり強く考える習慣をつけることだと思えます。

勉強のことでも生活のことでもあまり世話をやかないことです。

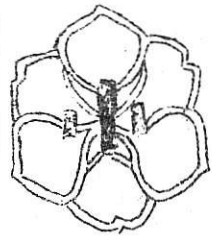
自分で考え、そして簡単に結論をださず、もっと別の考えかたはないかとよく考えるようにしむけてあげたいと思えます。

子どもたちが何かに取り組んでいるようすをみて、つい手を貸したいようなときでも、ひとりてやらせるのです。

自分で考え、知恵をしぼって結論を得た喜びは、さらにすすんでもっと深く考えようとする力になると思えます。

学校でも家庭でも、おせらず、じっくり時間をかけて、子どもたちの考えを引き出すように努めたいと思えます。

「校章決まる」



校章

たいさんぼく

まっすくに のびた

あおあとした あついで 葉

美しく くみあった 六まいの

白い 大きな 花びら

さながら 泰山を

この樹樹のように たくましく

この花のように 滑らかに

昨年開校式の時、正門の両側

に、「子どもたちが、この木のよ

うにすくすくとのびて、美しい花

を咲かせるように」と、将来への

ねがいをこめて、泰山木を植えま

した。

その後、校内に校章制定委員会

をつくって検討を重ねたところ、

このねがいをだいにしようとい

うことになり、泰山木の花を圖案

化して制定しました。

(校章制定委員会)

父母の学級委員

ことしの三月、学校と家庭の連絡にあたっていただくために、各学級から二、三名ずつの学級連絡員をお願いいたしました。今回学級連絡員の方に、学級の父母の方々の考えをまとめていただき、学級相互の連絡や調整をしていただくために、先日の父母会の際に各学級から父母学級委員を選出していただきました。

学級委員の方のなかには、連絡員を兼ねていただいたところもあります。

さきにもふれましたとおり、学級連絡員の方には、学級や学校との連絡にあたっていただきます。

学級委員の方には学級相互の連絡や調整、学年、学校との相互連絡をお願いいたします。

委員の方々へには、たいへんご苦労をおかけすることになると

思いますが、本校の子どもがより

よく成長するために、学校、学年

としゅうぶん連絡をはかっていただ

きたいと思っております。

なお今月上旬父母学級委員の方

に、お集まりいただき、学年ごと

に委員会を開く予定でございます。

(父母会係)

子どもの体重測定

保健室から

「二〇・五」「ちよっとふえたよ」「はいつぎの人」「三二・五」「わぁーおもしろい」。順次体重計にのった子どもたちの体重をよみあげていくと、ひとりひとりに対して重いとか、かるいとかわりかからにぎやかな声がかえってきて十月の体重測定がすめられていま

す。

十月にはいつの測定では、ほとんどの子どもが九月にくらべて

三〇〇〜五〇〇g、なかには一kg

以上もの体重の増加のみられ、子

どもたちの成長は目ざましいもの

です。特に五・六年女子はふえか

たが著しいようです。

臍調にふえている児童ばかりで

はなく、少し気になることもあり

ます。

その一、体重のふえかたの著し

い子ども。四月以来毎月一kg位づ

つふえ続け、それに対して身長の方

は、わずかののびしかみられない

子。ふとりすぎの傾向です。

運動不足と炭水化物(ごはん、パン、めん類)のとりすぎが主な

原因となつていますので、家庭に

おける食生活の改善と、身身的な

運動をする必要があると思ひます。その二、四月からふえたり、つたりしながら十月まで五〇〇g位しか体重の増加のみられない子。特に病気でもないのに理由のわからない子。運動を活発におこない、好ききらい言わず、もりもり食べるようにしたいものです。

す。

からだがいさくても、身長、

体重、胸囲などのつりあいがとれ

それがわずかでも毎月まちがいな

くふえ続けていけば心配ありませ

ん。からだ小さくても、力があ

り、運動もじょうずで、じょうぶ

であればよいのです。

次の表は48年度の一年間の発育

増加の平均です。健康カードをも

とにして、お子さんの発育増加の

様子をみてください。

| | 身長(㎝) | | 体重(㎏) | |
|---|-------|-----|-------|-----|
| | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 1 | 6.0 | 5.2 | 1.7 | 1.6 |
| 2 | 5.7 | 5.6 | 2.3 | 2.3 |
| 3 | 5.4 | 5.6 | 2.7 | 2.7 |
| 4 | 5.2 | 5.6 | 2.7 | 2.9 |
| 5 | 4.9 | 6.1 | 3.1 | 3.7 |
| 6 | 5.4 | 6.7 | 3.4 | 4.7 |